

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SORATO (UMIE) いなみ ※UMIEいなみ			
○保護者評価実施期間	2025年10月23日 ~ 2025年11月17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	2025年10月23日 ~ 2025年11月17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスとして学習支援に特化し、パソコンやタブレットを多用し利用者の支援を行っています。	なるべく児童が自主的に行動できるように促し、学びの習慣づけが出来るようにしています。	個別の利用者の学びの状況に合わせた支援を行っていきたいと思います。また保育所等訪問事業担当者との情報交換も継続して行っていきたいと思います。
2	また、ソーシャルスキルトレーニングを実施し将来社会に出た時の対応力を養っています。	ソーシャルスキルトレーニングフリップを使い、個別の支援を行いながら、長期休暇期間中や祝日などの休学日に、実践的な外出行事を行っています。	外出行事のバリエーションを増やし、社会に出た時に必要な体験を今後も行っていきたいと思います。
3	放課後等デイサービス単独事業所ではなく、児童発達支援事業所、保育所等訪問事業所も併設しており、連携して支援しています。	特に最近新設した保育所等訪問事業所から上がってくる学校での様子については参考になり、支援に繋がっています。	訪問事業所の位置づけが出来ることで、家庭と学校とUMIEそれぞれの考えを取りまとめ、連携を取れる土壌を作つて行ければと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者がいっぱい送迎可能な枠が限られており、神戸市西区や明石方面の依頼を受けられない状況があります。	一事業所に配置できる人員と利用者数とのバランスが難しいと考えています。	送迎のみの人員を入れるか、新規で利用される方にご家族で送迎の応援が受けれるかが課題になってくるのかと思います。
2	職員の一段階上の技能のレベルアップを望んでいきたいです。	職員の支援の質が下がらないように、効率的な職員の知識の修得を行っていきたいです。	障がい児の仕事を初めてされる職員もおられるので、最近では動画研修制度を取り入れています。
3	学校や保護者とのコミュニケーション不足を感じておりますので、注意していきたいところです。	送迎時間の変更が伝わっていなかったり、じっくりと児童に対しての話し合いの場を作ることが、共働き世帯も多く難しいご家庭もあります。	リモートでもいいので話し合いの場を作れるか検討していくことが必要と感じています。そのためにもLINEでのごまめな交流を続けています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	SORATO (UMIE) いなみ ※UMIEいなみ		公表日 2025年12月26日					
		利用児童数 2025/11/30現在 34名						回収数 34件
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	97% (33人)	3% (1人)	0% (0人)	0% (0人)	特にご意見はいただいておりません。	十分な広さの教室に加えて、遊び場所としてのプレイルームを用意し、事業所2つ分以上の活動スペースが確保できています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	80% (27人)	0% (0人)	0% (0人)	20% (7人)	特にご意見はいただいておりません。	法が定める児童10名に対して職員2名という基準以上の職員配置で、管理者を除き、正規職員2名、非常規職員6名(週に2~4日勤務)が配置されております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94% (32人)	0% (0人)	0% (0人)	6% (2人)	特にご意見はいただいておりません。	高齢者向け診療所を改装し、車いすを使用される方が利用できる手すり付きのトイレ等、バリアフリーに対応できています。また個別学習用に、十分な学習机が用意され、個別療育室も確保しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94% (32人)	0% (0人)	0% (0人)	6% (2人)	特にご意見はいただいておりません。	経年に伴う修理箇所(雨漏り、トイレの水回り関係等)については、その都度対応し、学習と遊びが快適に行えるよう努めています。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	97% (33人)	0% (0人)	0% (0人)	3% (1人)	特にご意見はいただいておりません。	各方面と情報交換を行い最新の情報を集め支援に生かせるようにしております。そのため職員全体制作成制度を取り入れ、多岐にわたる知識習得を目指しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	97% (33人)	3% (1人)	0% (0人)	0% (0人)	利用回数が祝日のみで少ないのでわからない。	基本的に学習支援をおこなっています。また近年ソーシャルスキルトレーニングを取り入れ社会性の獲得を目指していることを丁寧に説明できるように努力しています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	97% (33人)	3% (1人)	0% (0人)	0% (0人)	利用回数が祝日のみで少ないのでわからない。	現場職員、相談支援員等と相談し情報交換行っていることを丁寧に説明できるように努力しています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	97% (33人)	0% (0人)	0% (0人)	3% (1人)	特にご意見はいただいておりません。	個別に児童の状況を判断し都度支援の方向性を変更するようにしています。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100% (34人)	0% (0人)	0% (0人)	0人	特にご意見はいただいておりません。	時間的制限がある中でも計画書に合わせた支援をおこなっています。児童の精神状況で変更も余儀なくされることもあります。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	91% (31人)	3% (1人)	0% (0人)	6% (2人)	特にご意見はいただいておりません。	オンラインでのすらら学習、集団療育やソーシャルスキルトレーニング、プレイルームでの遊び、及び祝祭日の外出や提携している駄菓子屋さんにおやつの買物ツアーナなどを行っています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	38% (13人)	6% (2人)	15% (5人)	41% (14人)	特にご意見はいただいておりません。	保護者の意見や事業に置かれている諸条件を考慮に入れても交流を持つ機会を向けることは難しいと考えています。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	97% (33人)	0% (0人)	3% (1人)	0% (0人)	特にご意見はいただいておりません。	契約に際しては、重要事項説明書をもとに、時間をかけて十分な説明を行っています。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	84% (32人)	3% (1人)	3% (1人)	0% (0人)	特にご意見はいただいておりません。	新規契約時及び更新時期に原案等をお渡し説明を行い、一旦持ち帰ってもらつたうえで計画作成を行っています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	94% (32人)	0% (0人)	0% (0人)	6% (2人)	土曜日に研修会のお説教あるも家庭の関係でいくことができない。	4事業所が交代で主催する保護者研修会を3~4ヶ月をめどに当事業所で行っています。また新しい試みとして保護者様の意見交換会も行いました。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	91% (31人)	3% (1人)	0% (0人)	6% (2人)	特にご意見はいただいておりません。	ほぼ全員がLINEで連絡出来る体制を作っています。また訪問看護師による聞き取り調査も行っています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	73% (25人)	18% (6人)	6% (2人)	3% (1人)	特にご意見はいただいておりません。	ご両親共に仕事を持たれている家庭が多く直接会える機会は限られますが、ご相談事などはLINEで密に連絡取らせていただいています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	91% (31人)	3% (1人)	0% (0人)	6% (2人)	利用回数が祝日のみで少ないのでわからない。	状況により共感出来るところは共感し、考えを変えないといけないところは言葉に注意して支援の提案を行っています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	70% (24人)	6% (2人)	6% (2人)	18% (6人)	利用回数が祝日のみで少ないのでわからない。	定期的に行っている保護者研修会で貴重な意見交換の場を設けることができています。ここで得た情報をご家庭でも活用してもらえるように工夫しております。しかしながら、兄弟でのイベント企画は現状行っておらず、今後の検討課題と考えます。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	79% (27人)	0% (0人)	6% (2人)	15% (5人)	利用回数が祝日のみで少ないのでわからない。	送迎時や随時LINEで連絡を取る中で、特別に申し出あれば時間を調整し、話し合いの場を設けるようにしております。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94% (32人)	6% (2人)	0% (0人)	0% (0人)	特にご意見はいただいておりません。	児童とは各職員が担当になった児童と随時コミュニケーションを取っています。また、ほぼ全員がLINEによる連絡体制を取っており、リアルタイムで情報交換を行っています。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	79% (27人)	6% (2人)	3% (1人)	12% (4人)	利用回数が祝日のみで少ないのでわからない。	ホームページ、インスタグラム、LINE等で常に必要と思われる情報発信は行っております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91% (31人)	3% (1人)	0% (0人)	3% (1人)	特にご意見はいただいておりません。	契約時に個人情報の管理は注意していることを伝えています。また会議でも職員に周知しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	76% (26人)	9% (3人)	6% (2人)	9% (3人)	訓練はされているようですが説明はないです。	各種マニュアルに関しては策定されています。実施されていることの情報発信が少ない事もあり、今後の改善を目指していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	74% (25人)	0% (0人)	6% (2人)	20% (7人)	特にご意見はいただいておりません。	火災などを想定した通報、消火、避難訓練は定期的に行い、その様子に関しては開催があれば、随時インスタグラムにアップしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	79% (27人)	9% (3人)	3% (1人)	9% (3人)	利用回数が祝日のみで少ないのでわからない。	こどもや保護者に対して周知が不十分な点も考えられますので、一層の周知の方法を考え直すことも必要と考えております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	76% (26人)	3% (1人)	0% (0人)	21% (7人)	利用中けがをしたことがないのでわからない。	契約時に事故など緊急の事態が発生した場合は、救急連絡の上、搬送病院が決定次第近況を緊急連絡先に連絡を入れる段取りは説明しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	97% (33人)	0% (0人)	0% (0人)	3% (1人)	特にご意見はいただいておりません。	利用中の児童は、毎回落ち着いて利用されている方がほとんどです。しかし、当日のメンタル面が影響する方もおられますので、状況に応じて対応行っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	94% (32人)	0% (0人)	0% (0人)	6% (2人)	自分が描いた絵を職員に見てもらえるのが楽しみにしているようです。	保護者より児童が利用を楽しみにされているとのお話しは、よく送迎時やLINEで伺っています。特にイベント開催についての好評を得ています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	94% (32人)	3% (1人)	0% (0人)	3% (1人)	特にご意見はいただいておりません。	毎回、楽しく過ごしてもらえるように工夫はしていますが、最低限のルールを守れることについては注意して支援を行ってます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SORATO (UMIE) いなみ ※UMIEいなみ					公表日 2025/12/26
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75% (6人)	25% (2人)	利用者増加に伴い、出来るだけスペースを区分けするようにしています。	広い教室ではありますが、設備面でのさらなる改善策を考えていく必要性があると考えます。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75% (6人)	25% (2人)	利用者増加に伴い、必要に応じてパート職員に出勤依頼の問い合わせを行っています。	曜日によって職員の配置数にバラつきがあるのと、その差を少なくしていきたいと考えます。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88% (7人)	12% (1人)	高齢者向け診療所を改装し、車いすを使用される方が利用できる手すり付きのトイレ等、バリアフリーに対応できています。また個別学習用に、十分な学習机が用意され、個別療育室も確保しています。	遊びの場と学習のスペースが混在しているので区分けが必要と考えます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100% (8人)	0% (0人)	経年に伴う修理箇所（雨漏り、トイレの水回り関係等）については、その都度対応し、学習と遊びが快適に行えるように努めています。	教室は学びの場所、プレイルームは遊び場所と、役割による使い分けをしているが、教室で走り回って遊び場と勘違いしている児童が出てきているので、再度周知の徹底が必要と考えます。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100% (8人)	0% (0人)	児童の状況に応じて個別の部屋を使っています。	利用児童に対して誰でも使える遊び場になりがちになので、本来の用途をしっかり説明する必要があると考えます。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100% (8人)	0% (0人)	定期的に会議を行い、結果をグループラインや直接個別ミーティングにて周知するようにしています。	現状のシステム運用で十分要望を受け入れ、調整していくことは可能と判断します。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88% (7人)	12% (1人)	障害児通所施設支援システム「マイブル日誌Ⅲ」を導入し、業務改善、業務の効率化に努めています。	引き続き、ムダ・ムリ・ムラの軽減に取り組み、業務の効率化に努めたいと思います。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (8人)	0% (0人)	事業所内に意見箱を設置しつつ、こまめにLINEやメールの多用により要望を聞く窓口を開けております。	現状のシステム運用で十分要望を受け入れ、調整していくことは可能と判断します。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75% (6人)	25% (2人)	第三者評価は、まだ取り入れておりません。	現時点では、第三者評価制度の活用は考えておりません。しかし適切な運営が出来るように内部監査は行っています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100% (8人)	0% (0人)	外部の研修も参加しているが、月ベースで全ての職員が決められた動画配信研修を受けています。	現状の研修制度で十分と判断します。また研修の内容や開催方法については随時適切かどうか検討をしていきます。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (8人)	0% (0人)	協調性を重視し、ソーシャルスキルトレーニングにつながるように企画しています。	支援の様子については、その都度インスタグラムにて同意を得ている児童のみ撮影し、個人が特定しにくいように加工して、広く公表しています。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100% (8人)	0% (0人)	計画書更新となる月に、職員や保護者と意見交換を行い、作成を行なうようにしております。	保護者との直接的な意見交換ができる場を作りたいが、共働きとなる世帯が多く、スケジュール調整が困難な場面が表面化している。そのため今後もLINE等で連絡を密に取るようにしていきます。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88% (7人)	12% (1人)	毎日行っている職員のミーティングにて意見交換の検討の場を設定しています。また、不定期なるが必要に応じて担当者会議の開催を呼びかけています。	今後もこのような場を大切にし、支援に繋げていければと考えます。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75% (6人)	25% (2人)	支援開始前に毎回ミーティングを行い、必要な情報があれば意見交換を行なうようにしています。	今後も継続していく考えです。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (8人)	0% (0人)	事業所での様子をみて家庭での習い事で負担があるようなら、保護者に連絡しバランスを考えてもらえるように提案しています。	今後も事業所での利用児童の支援状況により、保護者との連絡を密にしていきます。	
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (8人)	0% (0人)	計画書にはなるべく簡潔にわかりやすい言葉を使って作成しています。	計画書の内容について、今後も児童の様子に合った支援内容を、簡潔で分かりやすい言葉で支援計画の作成ができるようにを心がけていきます。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88% (7人)	12% (1人)	正規職員が企画を出し、パート職員も意見を聞いたうえで、出来るだけ全員の参加を前提に行ってています。	現状、いい環境で支援を行えているので、今後も継続しながら問題点が出た時には微調整していくことにします。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (8人)	0% (0人)	オンラインでのすらら学習、集団療育やソーシャルスキルトレーニング、プレイルームでの遊び、及び祝祭日の外出や提携している駄菓子屋さんにおやつの買い物ツアーなどを行なっています。	新規の外出行事や買い物について別の場所が可能か、検討しながら変化をつけていきます。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100% (8人)	0% (0人)	集団療育、および外出行事や買い物など状況をソーシャルスキルトレーニングと考え、計画書に順次盛り込み支援を行なっています。	ソーシャルスキルトレーニングについては、今後も力を入れて支援を継続していくことは重要と考えています。	

	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100% (8人)	0% (0人)	毎回支援開始前にミーティングを行い、今日の予定から児童のこと事務的報告を行っておりま。	一律に職員が揃う場なので今後もこの時間を大切にします。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75% (6人)	25% (2人)	支援終了後はすぐに送迎があったり、勤務終了が全員一律ではないため難しいが、残っている数人の職員とは話し合いをすることあります。	支援前に行っているミーティングで十分と考えています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100% (8人)	0% (0人)	必要事項は毎回使っているメイプル日誌のシステム上に記録を行っています。	現在の取り組みを継続していきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (8人)	0% (0人)	半年ごとを目安に行っています。	現在の取り組みを継続していきます。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	88% (7人)	12% (1人)	学習支援等やソーシャルスキルトレーニングで自立を目指し、余暇時間等で創作活動などを行っています。	地域交流に関しては保護者様の様々な意見もあり、実施については一定のハードルがあつて難しい状況です。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100% (8人)	0% (0人)	今日の宿題の行う順番などは、利用児童に決めるようにしてもらっています。また余暇時間に提供できる内容も選択できるような問いかけをしています。	自主的に物事ができるようになることは重要と考えますので、今後も続けていきます。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (8人)	0% (0人)	呼びかけあれば出来るだけ参加方針としています。スケジュール的に難しい場合は電話連絡などで事前に情報共有を行っています。	現在の取り組みを継続していきます。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88% (7人)	12% (1人)	各部署との連携は可能な限り行っているが、地域の保健や医療といった関係機関となると、先方の事情もあり、難しいところがある。	特に医療との連携は家族経由となるので、相談したいことが相談できないこともあります。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100% (8人)	0% (0人)	保育所等訪問事業所が開設されてことで学校、家庭、事業所間の情報がわかりやすくなっています。	現在の取り組みを継続していきます。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	88% (7人)	12% (1人)	併設している児童発達支援の部署からの情報は密に行える環境にあります。保育所等訪問事業所からも個別に学校での情報は得ています。	現在の取り組みを継続していきます。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	88% (7人)	12% (1人)	開設以来中学校まで的一般校に通っている児童が多く、就労事業所につなぐことがありませんでした。	今後特別支援学校の児童で出てくる可能性があるので、対応できるように準備しておきます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75% (6人)	25% (2人)	直接的な連携は取れていません。	今後必要に応じて対応できるようにしていけるように考えています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50% (4人)	50% (4人)	現状そのような交流は行っていません。	放課後等デイサービスに通所されていることを周囲に知られたくない、という思いを持つご家族もいますので、広く交流するには難しい。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	88% (7人)	12% (1人)	出来るだけ時間を合わせて、誰かが参加できる環境を作っています。	現在の取り組みを継続していきます。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (8人)	0% (0人)	課題が発生した場合、送迎時に意見交換や直接の電話やLINEを多用しています。	現在の取り組みを継続していきます。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	88% (7人)	12% (1人)	保護者研修は年4回ベースで実施しています。	ペアレン特・トレーニングのみに限定すると出来ていないので、今後の検討課題ではあります。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (8人)	0% (0人)	契約時、担当者会議等で疑問点が無いように簡潔に説明行っています。	現在の取り組みを継続していきます。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (8人)	0% (0人)	担当者会議や個別のミーティング等で方針を決めています。	もう少し家族や児童の意見を聞ける場を設けていきたいです。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100% (8人)	0% (0人)	ある程度説明を行い計画書を一定期間渡しご意見をもらうようにしています。	現在の取り組みを継続していきますが、じっくりとお話出来る場を設けていきたいです。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (8人)	0% (0人)	ご要望があれば事業所に来ていただき、相談の場を設けています。	現在の取り組みを継続していきます。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100% (8人)	0% (0人)	保護者研修会の開催を通して相談できる場を設けています。兄弟同士で交流の場の限定した試みは行っていません。	兄弟での交流の場ができるか検討していきます。当面、現在の取り組みを継続していきます。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (8人)	0% (0人)	苦情受付体制が整備されており、管理者がその窓口となっております。ご要望については、対応者からの伝達により、速やかに応えるように努めています。	現在の取り組みを継続していきます。

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100% (8人)	0% (0人)	現時点では、会報等の発行は行っておりません。	現在インスタグラムで、プライバシーに配慮した形での情報発信を行っています。今年度より祝祭日の外出行事を行っているので最低でも半月前に保護者に案内メールを行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (8人)	0% (0人)	個人情報は、契約時に説明した通りに取り扱っておりまます。	現在の取り組みを継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (8人)	0% (0人)	スマホを用いた連絡ノートでのやり取りを始め、メール、電話など、保護者にとって利便性の高い方法で情報共有できるようにしております。	現在の取り組みを継続していきます。また個別でLINEでつないでもらい、気軽に素早く連絡体制が取れるように随時構築しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63% (5人)	37% (3人)	現状はそのようなイベント等は実施しておりません。	今後開催にあたっては検討課題ではあるが、個人情報の兼ね合いから慎重さが必要と考える。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75% (6人)	25% (2人)	各種マニュアル類の整備については、従来より法人で準備された物があり、契約時にその旨説明を行っています。	各種マニュアルがあるのか知らないパートさんもいるので周知の仕方を考えていく必要性があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100% (8人)	0% (0人)	作成しています。火災訓練を兼ねた救出訓練は行っています。	地震等での設定は行っていないので今後の検討課題ではあると思います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	88% (7人)	12% (1人)	新規の方や併設事業所からの移行時の契約時に、健康面の確認をしております。	現在の取り組みを継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100% (8人)	0% (0人)	契約時に、各種アレルギーの有無を確認させて頂いております。	現在の取り組みを継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100% (8人)	0% (0人)	併設している各事業所主催で避難訓練等を行っています。SNS等でも情報発信しております。	現在の取り組みを継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100% (8人)	0% (0人)	契約時に緊急連絡先を聞き、また可能な限りLINEを繋いでもらい、即時対応できるようにしています。	現在の取り組みを継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (8人)	0% (0人)	ヒヤリハットについては、障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」内に、電子的に記録しています。	現在の取り組みを継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (8人)	0% (0人)	ミーティングで実施しています。また、最近取り入れた動画研修でも項目で上がっており、順次視聴してもらっています。	現在の取り組みを継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100% (8人)	0% (0人)	身体的拘束の必要性に迫られる場面はなく、そうした対応が必要な利用児童はいません。個別療育室や廊下での声掛けを中心としたマンツーマン対応を行っています。	現在の取り組みを継続していきます。また、最近取り入れた動画研修でも項目で上がっており、順次視聴してもらっています。